

令和2年度 体育ばたけの会

県主題における水泳学習について



R2.6.20 徳島市津田小学校 東野伸哉

概要

1. はじめに・・・
2. 主題, 副主題について・・・
3. 「豊かな学び」について(研究内容)・・・

1 はじめに

体育授業に対する考え方の転換

- ・将来のために
- ・受験知として
- ・できた=善、できない=悪



**「できる」「できない」に挑戦する
ワクワク・ドキドキ感がおもしろい**

- ・新しい自分に気付く
- ・うまくいかないときに、新しい方法を考え出す
+ 動きの変化
- ・やったことを振り返り、新たなチャレンジに向かう

1 はじめに

「質の高い・意味のある」 授業の実現に向けて

<用具>

- ・ボールの確保（数種類が最低2人に1個）
- ・やわからいボール、やさしいハードル
- ・ゼッケンの確保（チーム数ごとに）
- ・鉄棒には補助パット、下にはマット
- ・水泳学習の用具の確保（ビート板、ヘルパーなど）
- ・表現CD

1 はじめに

「質の高い・意味のある」 授業の実現に向けて

<場づくり>

- ・跳び箱やマットでは、1つの場を5～7人で活動できる
- ・得意な子、苦手な子が一緒に活動できる
- ・砂場が常にふわふわな状態

<年間計画>

- ・単元体育の実施（「週1体育館」、「雨降り保健」はしない）
- ・副読本「わたしたちの体育」の活用
（ドッジボールは学習指導要領にない）

1 はじめに

「質の高い・意味のある」 授業の実現に向けて

＜その他、見直した内容＞

- ・自作教材の安全性（複数の教員でチェック）
- ・40人以上の合同体育
- ・男女別習体育
- ・体操服を忘れた子は「即見学」というルール
- ・45分間の時間確保
- ・評価観

2 主題について

研究主題

豊かな学びが 子供の未来をつくる 体育学習

- 「おもしろいコト」の共有から、
学びをスタートすることにより、
豊かな学びへと続く授業づくり —

主題のとらえ

体育学習でめざすもの

スポーツ基本法の基本理念

「スポーツは、これを通じて幸福で豊かな生活を営むことが人々の権利であることに鑑み、国民が生涯にわたりあらゆる機会とあらゆる場所において、**自主的かつ自律的にその適性及び健康状態に応じて行うことができるようにする**ことを旨として、推進されなければならない。」

新学習指導要領

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、**豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する**ことが目標とされている。

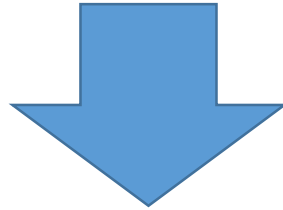
徳島県小教研体育部会 研究主題(令和元年度)

「豊かな学びが子供の未来をつくる徳島の体育」と主題を掲げて、徳島の体育がこれまで培ってきた**子どもありきの学習**をさらに深めていくこととしている。

主題のとらえ

＜教育の課題（最優先されるもの）＞

知識・技能（**コンテンツ**）の習得



生涯にわたって問題解決を実行していくために必要な能力（**コンピテンシー**）の育成

2 主題について

「豊かな学び」の必要性

見える部分

○ 科の目標

△ 科の目標

☆ 科の目標

体育科の目標

知識・技能
思考力・表現力・判断力等
学びに向かう力・人間性

育成

「豊かな学び」

発揮

「教科等横断的な視点に
立った資質・能力」
「学校教育に求められる
資質・能力」

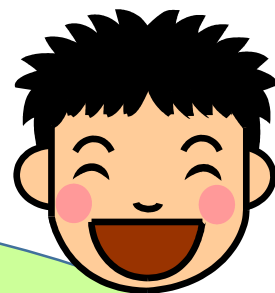
見えない部分



2 主題について



豊かな学び



見通しをもって学習に参加し，新たな価値を見出し，仲間と関わりながら課題解決に挑戦しようとする学び

培いたい資質・能力

見通しをもって学習に参加する力

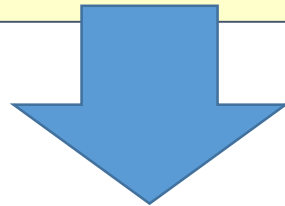
新たな価値を見付ける力

仲間と関わりながら課題解決する力

2 主題について

培いたい資質・能力

培う・・・能力，性質，学力，体力，精神力
といった目に見えないスキルを大切に育
てること



子供が「どのようにして学んでいるか」と
いう姿の中に現れているものを見取る

2 副主題について

「おもしろいコト」の共有

「本質的なおもしろさ」

(運動領域) その運動を成立させるもの

(保健領域) 健康に関する切実性のある問い

「おもしろいコト」

(運動領域) その運動に夢中になる出来事

(保健領域) 自身の認識と他者の認識が出合ったときに生まれる差異を解消しようとするコト

「おもしろいコト」

**「どうすれば、
ねらった所に着地
できるか」**



**マットの上
まで跳ぶぞ**

**6m60cm
の付近ま
で跳ぶぞ**



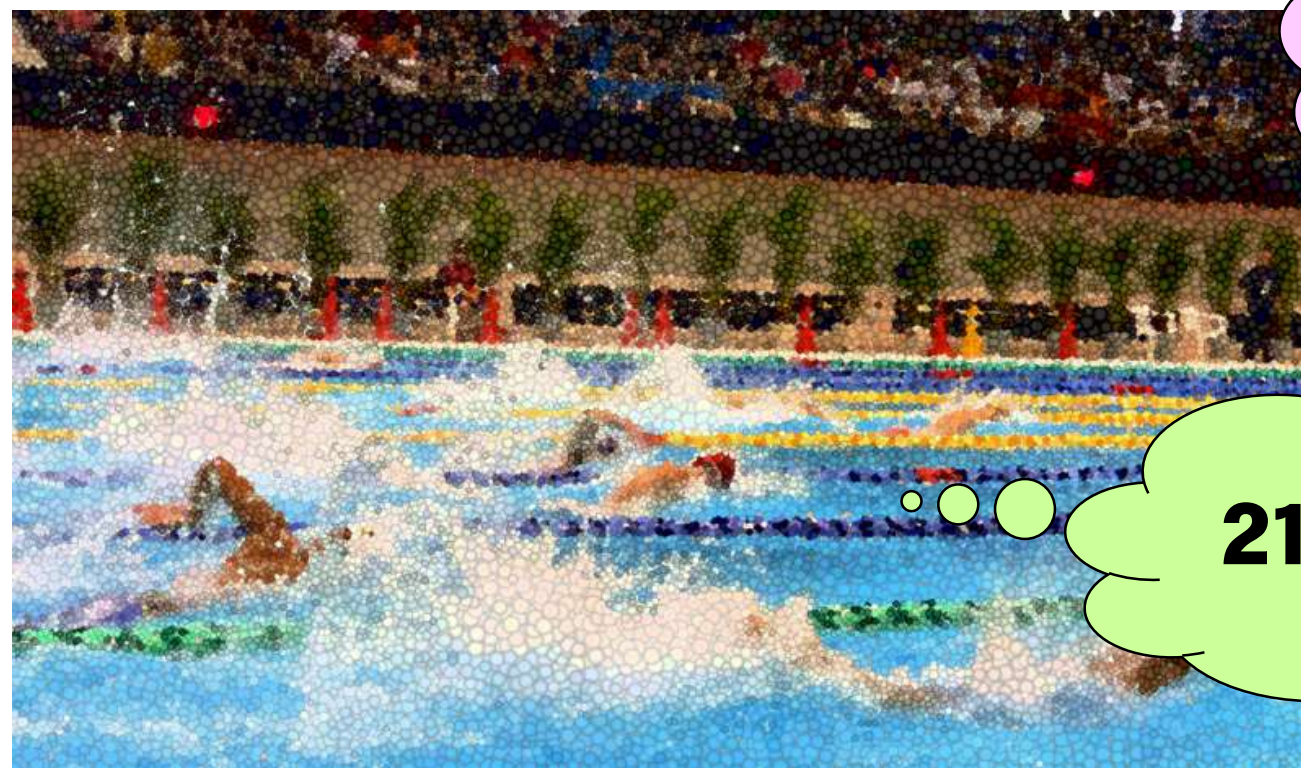
「おもしろいコト」



**「どうすれば、
目的地まで移動で
きるか」**

**プールの端
まで泳ぐぞ**

21秒で泳ぐぞ



2 副主題について

「どうすれば、目的地まで移動することができるかな」

単元の始めから、「どうすれば目的地に行けるか」という「**おもしろいコト**」を味わえる活動を行う。



「**おもしろいコト**」の共有

2 副主題について

「おもしろいコト」の共有から
「豊かな学び」へと続く

「どうすれば、浮いて長く進むことができるかな」

自分なりの「**浮いて長く進む**」ための課題が生まれる

豊かな学び(資質・能力の発揮)

- ・浮くための補助具を探してみよう。
- ・手足の動かし方を工夫してみよう。
- ・浮いて0m進みたい。



**浮く・泳ぐための
技能課題へ**

体育授業と運動特性

学習の中心に位置付く運動特性によって、学習が変わる

機能的特性を中心として

運動の楽しさを
学ぶ体育

観察者視点
(教師)

技術の正確な獲得を
目指す体育

構造的特性を中心として

主観
視点

動きのおもしろさを
中心として

「感じ」と「気づき」を
大切にした体育

当事者視点
(子供)

運動の本質的なおも
しろさを学ぶ体育

本質的なおもしろさを
中心として

客観
視点

体育授業と運動特性

(水泳)

機能的特性

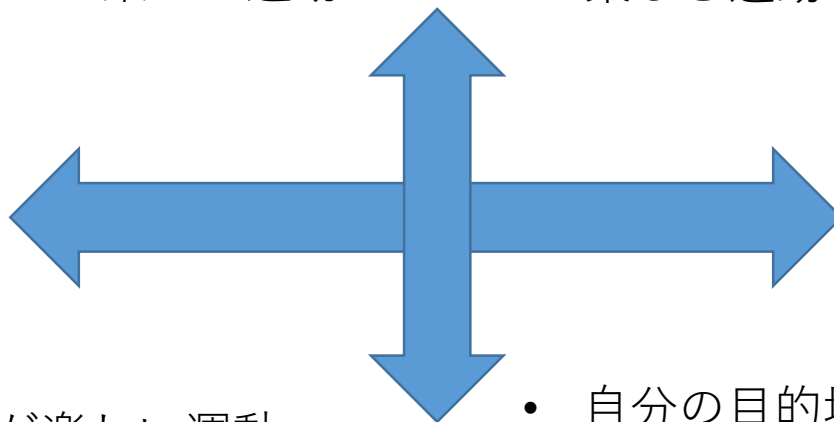
主観 視点

動きのおもしろさ

- 記録に挑戦するのが楽しい運動
- 上手くなることを学ぶのが楽しい運動
- 友達と協力できたときに楽しい運動

- 体が浮くのを楽しむ運動
- 水の抵抗を感じながら進む感覚を楽しむ運動

観察者視点 (教師)



当事者視点 (子供)

- 泳法の技術の獲得が楽しい運動

- 自分の目的地まで移動できるかどうかを楽しむ運動

構造的特性

客観 視点

本質的なおもしろさ

領域		本質的なおもしろさ	おもしろいコト
陸上運動	短距離走	移動するおもしろさ	どうすればスタートからゴールまで移動できるか
	ハードル		どうすればハードルを走り越えて、スタートからゴールまで移動できるか
	リレー		どうすればスタートからゴールまでバトンを移動できるか
	幅跳び		どうすればねらった所に着地できるか
	高跳び		どうすれば跳び越えられるか
器械運動	マット	移動するおもしろさ	どうすればマットの端まで行けるか
	鉄棒		どうすれば鉄棒の上に上がったり、回ったり降りたりできるか
	跳び箱		どうすれば跳び箱の向こうに行けるか
ゲーム		攻防のおもしろさ	攻めたり守ったりできるか
ボール運動	ゴール型		シュートするかさせないか
	ネット型		相手コートにボールを落とすか、自コートに落とさせないか
	ベースボール型		次の塁を盗るか盗らせないか
保健		健康に関する切実性のある問い	自分の認識と他者の認識が出合ったときに生まれる差異を解消するコト

3 「豊かな学び」について

研究の方針

「豊かな学び」がどのように授業で見られるか

見通しをもって学習に参加する力

新たな価値を見付ける力

仲間と関わりながら課題解決する力

どのような場面を
設定するか

どのように
関わっていくか

3 「豊かな学び」について

研究の方針

「豊かな学び」についての評価

見通しをもって学習に参加する力

新たな価値を見付ける力

仲間と関わりながら課題解決する力

事前に想定した姿が
見られたか



単元展開・
支援の改善

3 「豊かな学び」について

見通しをもって学習に参加する力

新たな価値を見付ける力

仲間と関わりながら課題解決する力



おもしろいコトを共有し、自分の課題に合った補助具を選択している



仲間との関わりから課題解決を図ろうとしている

新たな目標を立てたり、ジレンマを解消しようとしていたりしている

